



# 家庭通信 11月号

2024年10月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

朝夕の冷え込みや夕暮れが早くなり、本格的な秋の到来を感じます。例年この時期にはお散歩に行き、沢山のどんぐりや落ち葉を袋に入れて大事そうに持ち帰ってじっくり眺めて大きさ比べをしたり、色の変化に気づいたり、数を数えたり、子どもたちの観察力を大事に育てていきたいと思っています。ドングリから出てくる虫（ゾウムシの幼虫）をいっぱい集めて観察したり、生態に興味を持ったりすることも博士が誕生することもあり、ひとつの小さな木の実は子どもたちの色々な可能性を広げます。「遊びの中には学びがある」とはこうした子どもたちの日常に散りばめられていると実感しています。

## 【根拠なき自信】

先日、年中組の子どもたちが鶴牧西公園に行ったとき、公園内で田んぼを発見し、稲が育っている様子を観察して帰ってきました。稲からお米ができることが分かった子どもたちから、「今度は自分でおむすびを作って公園に行きたいね」ということになり、おむすびをもって再び公園に行き、田んぼを前にしながら自作の塩おむすびを味わう経験をしました。子どもの何気ない「やりたいね～」の気持ちとそれを叶えたいと思う担任の思いが力となって、給食室の協力もあり実現したものでした。

子どもは何の根拠がなくても「できるかも・・・」「やってみよう！」と思えるたくましい心を持っています。私はこのことを【根拠なき自信】と解釈していますが、この自信こそ、乳幼児期の経験を通して育てておきたい心情です。今月は保育参観を予定している学年がありますので、子どもたちの日常の生活からどんなことを体験して学び、自信につなげているのかご覧いただけたら幸いです。

季節の変わり目で大人も子どもも体調管理に気を付けて、年末に向けて元気に過ごしていきましょう。

## 11月のねらい

### <年長>

- ・進んで戸外で遊び、十分に身体を動かしたり、ルールのある遊びの面白さを味わったりする。
- ・自分なりの目当てや出来るようになりたいことに、繰り返し挑戦してくことで自信や意欲を持つ。
- ・友だちと考えや思いを出し合い協力したり、分担したりしながら目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。

### <年中>

- ・健康に過ごすために必要な習慣がわかり、自分から進んで行おうとする。
- ・身近な自然に触れ、興味を持ったり取り入れたりして遊ぶ。
- ・気の合う友だちと誘い合い、場を作ったり、自分たちなりに遊びを進めようとする。
- ・色々な友だちと関わり、一緒に遊ぶ中で相手にも思いや考えがあることを知り、耳を傾けようとする。

### <年少>

- ・身の回りのことを丁寧に行おうとする。
- ・保育者や友だちと同じ場で一緒に体を動かす事を楽しむ。
- ・色々なものになりきって遊ぶことを楽しむ。
- ・保育者や友だちに自分の気持ちや思っている事を言葉で伝えようとする。

### <2歳児>

- ・保育者の見守りや関わりの中で、自分のことを話したり、周りの話を聞いてみたりする楽しさを感じる。
- ・身近な秋の自然物を使って、見立て遊びをしたり試したりすることを楽しむ。

### <1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています